

4車線化による地域産業の発展と高速道路へのアクセス向上

— 国道6号土浦バイパスの4車線化 (土浦市中 ~ 土浦市中貫) H29.3.25開通 —

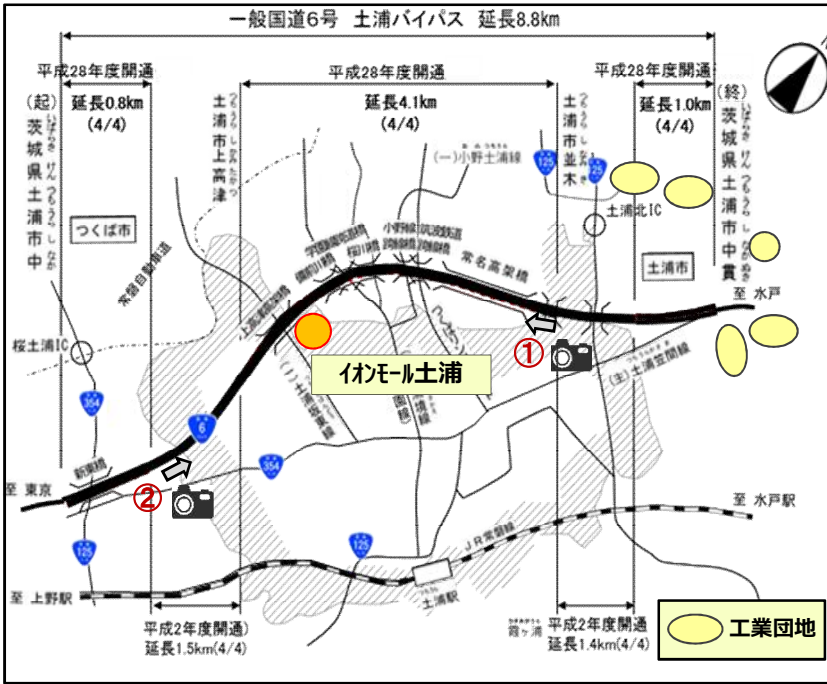
事業目的

【現状】

- 昭和56年のバイパス開通(2車線)により、沿線での住宅地拡大、企業・大型ショッピングセンターの立地などにより、**市街地が拡大し、産業も発展**
- 一方で、**交通需要が増大し、交通渋滞が発生**

【4車線の整備効果】

- インターチェンジや工業団地、商業施設への**アクセス性が向上し**、企業立地の促進、沿線企業の物流効率の向上および地域の活性化に寄与
- バイパスの交通が円滑化し、土浦市街の交通がバイパスへ転換することにより、**土浦市街の渋滞緩和に寄与**



事業概要

- 事業箇所：土浦市中地内～土浦市中貫地内
- 事業延長：L=8.8km
- 幅員：W=18.5～20.0m
- 総事業費：約338億円
- 完成年月：平成29年3月



① 2車線区間の交通状況 (開通前)

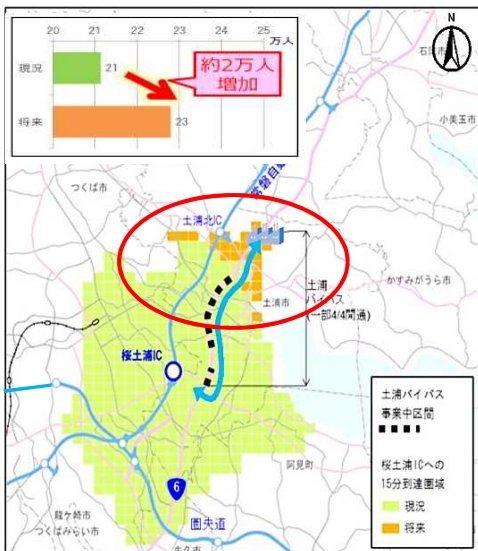
② 4車線区間の交通状況



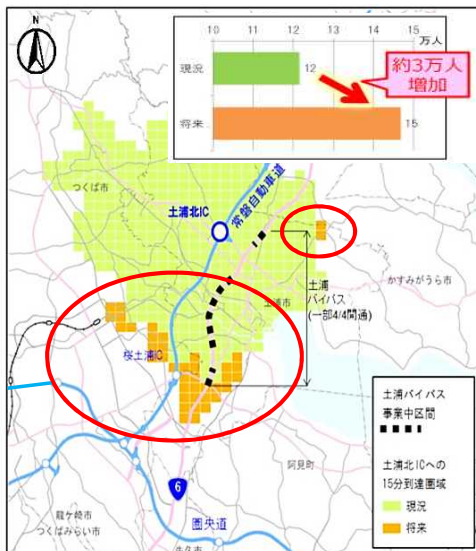
地域や暮らしへの効果

周辺ICからの15分圏域が拡大！

桜土浦ICへの15分到達圏域人口



土浦北ICへの15分到達圏域人口



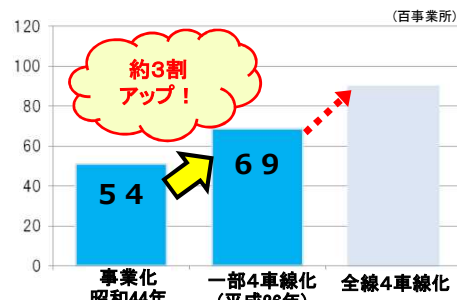
※算定条件：H22道路交通センサス混雑時旅行速度を使用。将来における土浦バイパスの旅行速度は60km/hとした。

(出典)平成29年3月 国土交通省記者発表

沿線地域の企業立地が進展！

- ・ バイパスの2車線開通により、沿線地域に企業が立地し、地域の活性化に貢献
- ・ 全線の4車線化により、**更なる企業立地と地域の活性化が期待される。**

【土浦市の事業所数の変化】



S44:事業所統計調査 H26:経済センサス基礎調査

(出典)平成29年3月 国土交通省記者発表